

ふくい街角景気速報

(令和6年7月分)

調査期間 令和6年7月19日～26日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは48.6となり、前月と比べ3.3ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは49.2となり、前月と比べ1.4ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 48.6 (前月比 +3.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ 0.5 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 8.4 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 3.4 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

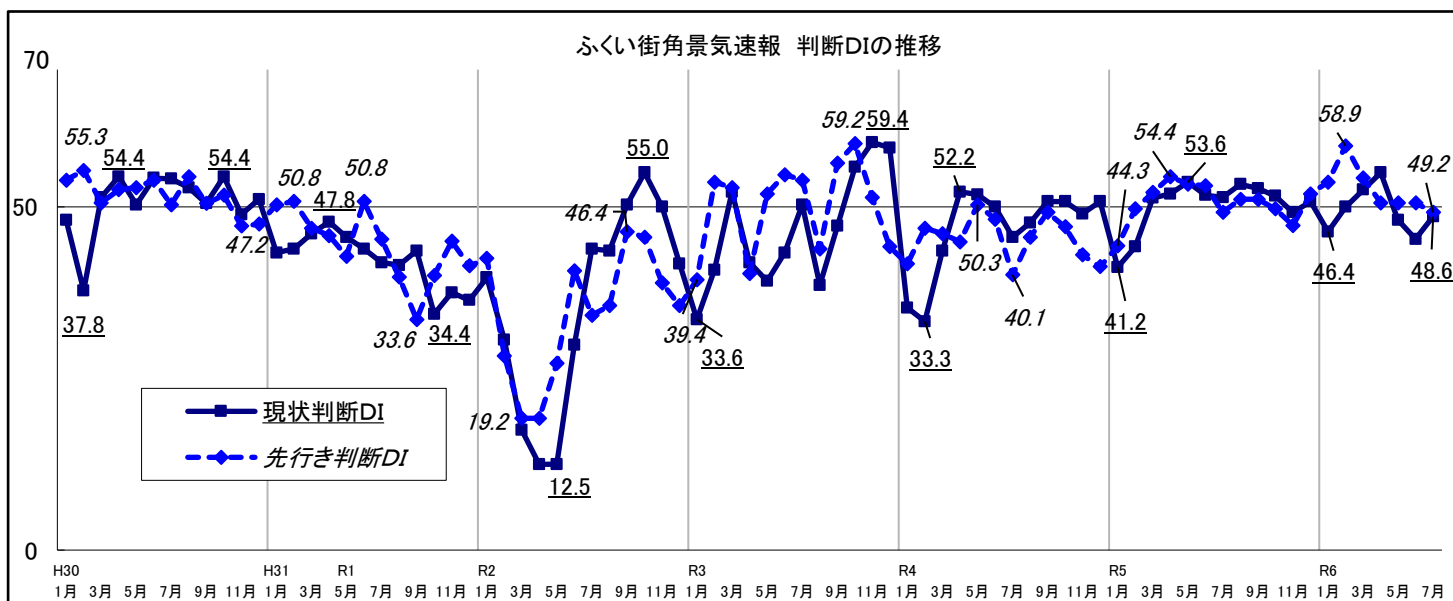
- 4月以降宿泊者数は高水準で維持している。宿泊者の客層がビジネスから観光へと変化してきており、平日需要から週末需要に変わってきている。(観光関係)
- 良くなっている部分もあるが、原料の高騰、為替等の不安定な要素がある。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 49.2 (前月比 ▲1.4)

- 家計動向関連では、前月に比べ 4.4 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 4.6 ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ 7.2 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 円安や物価高に伴う仕入単価上昇の再加速や、人出不足・人件費上昇など利益圧迫が続くとみられるが、インバウンド消費の拡大や観光産業の個人消費の回復などの好材料で緩やかな持ち直しを期待。(銀行等金融関連)
- 新幹線会開業後初の夏でもあり期待は持てるが、物価高による販売商品の値上げが消費を抑制している印象がある。(商店街)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

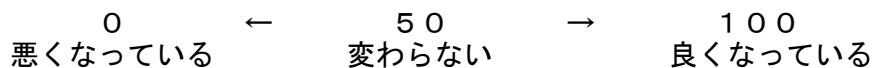
3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。



1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R6 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		50.0	52.5	55.0	48.1	45.3	48.6	+3.3
家計動向関連		50.0	52.3	58.7	45.3	41.8	41.3	▲0.5
小売		50.9	46.4	51.9	42.7	42.7	37.1	▲5.6
飲食		45.0	62.5	66.7	50.0	35.0	50.0	+15.0
サービス		50.0	62.5	72.5	50.0	42.5	47.9	+5.4
企業動向関連		45.7	50.0	49.3	49.2	45.5	53.9	+8.4
製造業		45.0	52.1	51.0	48.8	45.8	50.0	+4.2
非製造業		47.5	45.0	45.0	50.0	44.4	62.5	+18.1
雇用関連		62.5	60.4	58.3	56.3	59.1	62.5	+3.4

○回答別構成比

	年 月	R6 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなっている		1.1%	5.6%	11.1%	3.3%	2.2%	3.3%	+1.1
やや良くなっている		23.3%	26.7%	26.7%	20.0%	17.8%	17.8%	+0.0
変わらない		53.3%	42.2%	36.7%	46.7%	44.4%	51.1%	+6.7
やや悪くなっている		18.9%	23.3%	22.2%	25.6%	30.0%	25.6%	▲4.4
悪くなっている		3.3%	2.2%	3.3%	4.4%	5.6%	2.2%	▲3.4

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R6 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		58.9	54.2	50.6	50.6	50.6	49.2	▲1.4
家計動向関連		62.2	55.7	51.2	49.5	51.1	46.7	▲4.4
小売		58.0	50.0	41.7	46.8	49.2	42.2	▲7.0
飲食		55.0	58.3	75.0	45.0	65.0	65.0	+0.0
サービス		77.5	70.0	62.5	58.3	50.0	50.0	+0.0
企業動向関連		52.1	51.5	48.6	50.0	46.2	50.8	+4.6
製造業		51.0	52.1	50.0	48.8	42.7	48.9	+6.2
非製造業		55.0	50.0	45.0	52.8	55.6	55.0	▲0.6
雇用関連		66.7	56.3	54.2	56.3	61.4	54.2	▲7.2

○回答別構成比

	年 月	R6 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなる		10.0%	6.7%	7.8%	2.2%	3.3%	2.2%	▲1.1
やや良くなる		34.4%	30.0%	18.9%	21.1%	24.4%	22.2%	▲2.2
変わらない		41.1%	42.2%	48.9%	56.7%	47.8%	50.0%	+2.2
やや悪くなる		10.0%	15.6%	16.7%	16.7%	20.0%	21.1%	+1.1
悪くなる		4.4%	5.6%	7.8%	3.3%	4.4%	4.4%	+0.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	雇用	嶺南	就職情報誌	北陸新幹線開業に伴い、人の動きが活発になってきている感じがする。
②やや良くなっている	企業動向	坂井	観光関係	イベント開催によってやや良くなっている。若干ではあるが関東方面からの客層も増えてきている。
		丹南	電気機械関連	3ヶ月前に比べると受注・売上共にやや増加している。
		福井	化学・プラスチック関連	工場の稼働が改善されてきている。
		福井	銀行等金融関連	資源価格や原材料価格は、引き続き円安や世界的なエネルギー価格高騰の影響を受けて、高止まりが続いている一方で、サービス業は、新幹線効果により観光客・宿泊客の増加がみられ、わずかながら改善。
		丹南	建設・不動産関連	売上・受注ともに微増傾向。
		福井	運輸関連	物量が回復傾向にある。
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	先月からは横ばい、やや良くなっているで変わらないという印象。北陸新幹線開業後初めての夏季で、期待は持てるのではないかと感じる。天候の良い週末等は駅前には多くの方がお越しになっている。
		嶺南	商店街	イベント等が復活してきたが、まだまだ感がある。コロナも増えているようでパツとしない状況。関東・長野あたりからの来街が増えていると聞く。
		嶺南	飲食関連	人は動いているし、イベントもあちこちで開催されるようになったが、景気が良くなったようにも悪くなったようにも思えない。
		奥越	飲食関連	仕入れの値段が高く、儲けが出ない。
		嶺南	観光関係	新幹線効果は、秋以降十分に期待できるが、現状は、不順な天候も相まって夏季の集客に苦労している。
		福井	観光関係	4月以降宿泊者数は高水準で維持している。宿泊者の客層がビジネスから観光へと変化してきており、平日需要から週末需要に変わってきている。
	企業動向	坂井	繊維関連	良くなっている部分もあるが、原料の高騰、為替等の不安定な要素がある。
		奥越	電気機械関連	受注状況の変化無し。
		福井	化学・プラスチック関連	建築資材の高騰、慢性的な人手不足、輸送問題など好転材料が乏しい。
		嶺南	商社	個人消費の伸び悩みが大きい。
		嶺南	その他製造関連	公共工事が少ない状態が続いている。
		福井	建設・不動産関連	円安による物価高の影響がある。
		雇用	嶺南	労働相談員
④やや悪くなっている	家計動向	坂井	一般小売店	買い控え、ギフトや贈答などの減少。
		福井	百貨店、SC等	モノへの購買意欲が減少している。郊外モールへの流出が止まらない。
		丹南	百貨店、SC等	来館客数、売上高、買上客数等の推移から判断。
		福井	コンビニエンスストア	今春より、客単価の前年比が1割弱の落ち込みが続いている。節約志向を感じる。
		坂井	観光物産関係	新幹線効果が5月以降あまり感じられない。
	企業動向	福井	一般機械関連	国内市場の商談・受注は業界平均よりも悪い。
福井		その他製造関連	物価の値上がりが続く、製造業は原材料仕入れなど価格交渉に苦労し、値付けにも苦労している。	
⑤悪くなっている	家計動向	福井	飲食関連	新幹線が開通し県民が福井駅前に集中したが、時間が経って閑散としてきた。県外の観光客は思った以上に来っていない。物価高などによる消費行動が減っている事も重なっている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	福井	飲食関連	新幹線開通後初の夏・お盆になり、人の行動の活発化や、ボーナスが出て消費行動の活発化を期待。
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	花火大会等の大きなイベントが続き、人手が期待できる。
		坂井	百貨店、SC等	回復の要素が少ないが、お盆休みの帰省客の増加が期待できる。
		嶺南	観光関係	北陸新幹線敦賀延伸効果は確実に上がっており、特に関東方面からの予約が堅調。
	企業動向	丹南	電気機械関連	中国経済低迷、世界で発生している紛争の状況により先行きの不透明感はあるものの、季節要因を除いても需要は緩やかに回復してきている。
		嶺南	その他製造関連	公共工事が今よりは発注されることを期待。
		福井	銀行等金融関連	円安や物価高に伴う仕入単価上昇の再加速や、人出不足・人件費上昇など利益圧迫が続くとみられるが、インバウンド消費の拡大や観光産業の個人消費の回復などの好材料で緩やかな持ち直しを期待。
雇用	坂井	自治体労働政策担当課	事業者が設備投資等に向かっている。	
③変わらない	家計動向	嶺南	商店街	新幹線開業後初の夏でもあり期待は持てるが、物価高による販売商品の値上げが消費を抑制している印象がある。
		福井	百貨店、SC等	競争に加え、天候、物価上昇等の値上げ与件は続くが、昨年よりも夏休みでの駅前の賑わいは得られると思われる。店内への吸引企画、施策などにより押し上げを図りたい。
		丹南	百貨店、SC等	円安、物価高、燃料高等のマイナス要素によって、高価格帯の商材の動きが悪く、全体的に買上客数の減少も続いている。100円均一商材の動きが良いこと等からみても、消費に対しての節約志向の強まりを感じる。
		坂井	スーパー	季節商品を多く扱っており、天候・気候次第で大きく左右されるため現時点では何とも言えない。
		坂井	観光物産関係	閑散期になり商品の動きが鈍くなるとされる。
		奥越	飲食関連	慢性的な人手不足で客足が増えても回せない。
	企業動向	福井	眼鏡関連	良くなるような気配は全く無い。この様な状態が続くのではないかと思う。
		福井	一般機械関連	自動車業界の不正検査に伴う生産停止などから、年内の設備投資は下振れると思われる。
		福井	化学・プラスチック関連	大きな売上が見込めない。
		福井	建設・不動産関連	為替変動がある程度落ち着かないと、景気が良い方向には向かわない。
	雇用	嶺南	ジョブカフェ担当者	新幹線敦賀開通から約4か月、一部で賑わっている様子が報道されるものの、ここでは景況に良い影響を与えているような声が入ってこない。これから、市町と連携した企画や北陸DC等を利用した誘客に期待したい。
		嶺南	就職情報誌	コロナ感染やインフルエンザ感染の流行により悪くなる傾向も考えられる。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	物価高騰で消費が伸びないと思われるため。
		福井	家電販売店	為替変動による物価変動。
		嶺南	飲食関連	この夏は、コロナ禍でできなかったことを取り戻すように色々なイベントが行われ賑わうことが多いと思うが、その反動で、2～3ヶ月後は疲れが出て落ち着く傾向があるのではないかと。
		福井	観光関係	通常は若干の閑散期に入るため、特に飲食の来客は減少するとみている。
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、輸出向けで欧州等多くの地域の景気減速と在庫調整による受注減少がしばらく続く見通し。
		福井	その他製造関連	今後も燃料、資材高騰が続くと予想される。
⑤悪くなっている	雇用	丹南	労働相談員	福井県の中小企業の賃金上昇分が物価上昇に全く追いついていない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長・従業員	2
観光物産関係		
	売場責任者	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)